

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第59回 2023年4月)



少し前の話で恐縮だが、漫画家の松本零士が2月13日に85歳で亡くなった。10～20代の多感な年ごろに『宇宙戦艦ヤマト』や『銀河鉄道999』に接した食いしん防にとって、大きな影響を受けた作家の一人。追悼の意を込めて、松本作品について語ってみたい。

アニメ『宇宙戦艦ヤマト』を観たのは、何度目かの再放送の時。一発でハマりました。そのころはプラモデル作りが趣味で、第二次世界大戦時の戦闘機や軍艦をよく作っていた。好きだったのは日本やドイツ。なぜか戦争に負けた方の兵器ばかりだったのだが、松本作品の綿密なメカ描写にたちまち夢中になった。

むろんメカだけでなく、森雪やメーテルら女性陣にも魅かれた。まあちょいと痩せすぎかなとは思ったけど。主人公たちの恋愛模様に一喜一憂したものだ。

漫画では、友人から勧められて読んだ『戦場漫画シリーズ』がお気に入りだった。戦争の残酷さや無意味さがこれでもかと描かれる（負けた側が主人公なのも私好み）一方で、「愛する者や友人のために命を捨てるのは美しい」みたいなロマンチズムも漂っていて、そこにいささか危険な香りも感じていた。

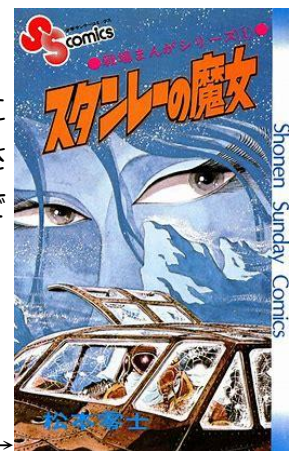
『宇宙戦艦ヤマト』も、よく考えるとひどい話である。滅亡の危機にあるガミラス星人が、移住先として地球に攻めてくる。放射能に汚染された地球を救うため、遠い宇宙に赴いたヤマトは、なんとたった1隻でガミラス帝国を絶滅させてしまうのだ！

最後に主人公の古代進はこう言う。

「我々は戦うべきではなかった。愛し合うべきだったんだ！」

おおい、それが相手を滅ぼしといて言うことかよ。

懐かしの戦場漫画シリーズ→



他にもアナライザー（ロボット）が女性乗組員にセクハラ行為を繰り返すのをお笑いネタとして扱うなど、問題点がなくもなかった。とりわけ劇場版『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』で特攻を美化したのはまずかったと思う。

それでも、松本零士の追悼記事を書いていたのが、食いしん防と同世代だったところからも、あの時代に青春を過ごした人たち（とりわけ男子）にとって、松本作品は重要なポップカルチャーであり、アイコンだったことがわかる。

主に1980年代に作られた松本零士原作の劇場版オリジナル映画の中で、最高傑作は『さよなら銀河鉄道999 アンドロメダ終着駅』だ。映像のクオリティもドラマ性も際立っている。とりわけ音楽（東海林修）の素晴らしさは、全ての日本映画中でも五指に入る。エンドクレジットの演出は、古今東西の映画を対象にしてもベスト3に入るほ

ど感動的でカッチョよい。

食いしん防の学生時代、寝室の天井には松本零士の描いた女性（たしかスターシャだったはず）のポスターが貼ってあった。つまり一種の理想の女性として、睡眠前の脳裏に焼きつけられていたわけだ。その後、実際に結婚した相手がどうだったかは、命が惜しいのでここには書けない。



貼ってたポスター→



TOPICS

☆防災推進員の交代時期

各自治会から出していただいている防災推進員が、年度変わりに交代されるところも多いでしょう。（留任していただけるととてもありがたい！ でもいろんな事情があるからね）

交代の際は、ぜひとも引き継ぎをよろしくお願いいたします。

引き継ぎしないとこうなる!？→



☆今年度も『誰も取り残さない防災』を推進します！

昨年度から取り組みを始めた『誰も取り残さない防災』。

自力では避難するのが難しい人を、地域みんなで助け合う仕組みを作る、というのが主旨。今年度も引き続き、この取り組みを進めていきます！



今後の活動予定

5月26日 湖東まち協総会

6月下旬 こと防全大会

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

これが有名な松本零士メーター→



勝手にQ&Aコーナー

Q：自力での避難が難しい『避難要援護者』とは、高齢者だけの世帯を指すのですか？

A：若い世代と同居してる場合でも、平日の昼間など家族が外出して高齢者だけになる場合があります。また一緒にいる時間帯でも、若い人が怪我をして動けなくなることだってあります。同居家族があっても、避難するのに補助が必要な方は、『避難要援護リスト』に載せておくのがベストです。

Q：松本零士が好きだったのはわかりましたが、それが防災と何の関係があるんですか？

A：細かいことにこだわるねえ。人生のバイブル『銀河鉄道 999』において、主人公の鉄郎は最後にこう悟る。「限りある命だからこそ、人は懸命に生きるのだ」と。あなたの疑問にメーテルならきっと次のように答えるはずだ。「限りある命だからこそ、人は懸命に防災活動をするのよ」。

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

